



学校教育の国際比較

—世界から注目される、非認知能力を育成する日本の教育課程—

学校に求められるものは、国によって異なります。OECDの影響で非認知能力に注目が集まっていますが、日本の教育課程では何が担うのでしょうか。コロナ禍で授業時数が減った時、図らずもテスト学力にかかわる授業が優先された場面が多かったようです。では例えば、随分削られた学校行事にはどのような意味があるのでしょうか。

6月27日（木）

13:30～15:00

講師

天野 幸輔

名古屋学院大学外国語学部准教授。

都内大学病院緩和ケアチーム・コーディネータ、県内公立小中学校および日本人学校教諭を経て、現職。道徳科と特別活動を通じたいのちの教育を研究中。

講義の対象

興味のある方ならどなたでも

受講者へのメッセージ

現在、エジプトには日本型学校が50以上あることをご存じでしょうか。なぜエジプトは、日本の教育課程に注目したのでしょうか。日本側はその導入や指導方法に支援をしていますが、支援する側が学ぶことはないのでしょうか。よりよい学校教育の実現に向けて、ご一緒に考えましょう。

定員

15名

受講料

1,000円